

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2022年 12月 20日

運営推進会議における評価実施日: 2023年 2月 20日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進 会議 における 外部評価	記述
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B	職員研修にて利用者様への対応の仕方等定期的に行っている。	B	職場での確認研修
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	基本的には好きな様に過ごして頂いている。趣味や創作物、家事などもお願している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B	各利用者様の状態や好みを理解し、提供している。片付けも可能な利用者様をお願いして行っている。	B	写真でメニューを作ってみては？
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B	食事量、おやつ、水分量を記録し、夜勤者が合計し、記録している。少ない方は看護師等と食事形態を検討、実施している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B	難しい方もおられるが、その人に応じた声掛けや介助を行っている。週1回訪問歯科があるので相談も行っている。	A	夕食後はきちんとされてる。毎食後は難しい？
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B	排泄の記録を元に訪問看護様等と相談し、適切な介助や服薬を検討、実施している。	B	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を奨励するように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	C	お風呂が好きな方や嫌いな方がおられるが、均等に入れる様支援している。1人が毎日入浴は難しい。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	B	昼寝が習慣の方には休んで頂いている。眠そうな方には促している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B	服薬用のファイルにそれぞれのお薬の種類を添付して見られる様になっている。特にお薬が変更になった時は効き過ぎや副作用を観察する様になっている。	B	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	その方がしたい事を把握し、危険の無い様にして頂いている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	D	コロナ禍により自粛中。草引きが好きな方は定期的に職員見守りして頂いている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	D	事務所で管理しているので利用者様がお金を持つことは無い。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B	希望があれば実施している。自ら自分の携帯で電話される方もおられる。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B	各お部屋やトイレ、浴室等分りやすく表示している。テーブルや椅子にも名前を貼り、分り易くしている。毎月季節に応じた壁紙を利用者様と作成し、季節感を表現している。	A	ゆらの里通債から施設の中が居心地の良い雰囲気伝わってきます

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンターゆらの里

作成者: 家澤浩司

作成日: 2022年 12月 20日

運営推進会議における評価実施日: 2023年 2月 20日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会議 における 外部評価	記述
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	B	それぞれ「〇〇する」「〇〇させて」と言われることがあり、危険が無い範囲ですべて頂いている。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	会議等で基本情報として共有している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	日々の記録や観察を元に検討、実施している。	A	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	B	寝る、起きるが早い方や遅い方がおられるので本人任せではあるが昼夜逆転等しない様には気を付けている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	B	利用者様によって出来ていたり出来ていなかったりではある。	A	家で使っていた道具を持ってきていただく様支援されている。家族さんが考えて持ち込むのに制限はない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	D	コロナ禍により自粛中。リモートでお孫様の結婚式を見て頂いたことはある。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	B	利用者様が出来る事、したい事を一人一人確認し、それぞれに応じた事をして頂いている。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	B	その人なりの生活が出来、楽しく会話や生活出来る様検討、実施している。	A	ゆらの里通信の利用者さんの表情から楽しく生き生きと過ごされていることがわかります
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	D	コロナ禍により自粛中。以前は文化祭や訓練に参加したりゆらの里の祭りに来て頂いたりしていた。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	B	コロナ禍で地域の方々とお会いすることは無いが、職員と馴染みの関係になって日々過ごして頂いている。	B	ゆらの里理念「こもれびの様に暖かく、ひだまりの様にやさしい笑顔あふれる馴染みの人との暮らしを共に作ります」を毎朝読み上げられている

総評

・1問ごとに資料と説明があつて分かりやすかった
 ・控えめな自己評価だと思いました。出来ていることは自信を持って下さい
 ・入居者に対して丁寧に接しその人らしく生活されていると思います
 ・新型コロナ感染拡大の中、利用者の健康と生活を守る為に工夫し努力されていることが活動状況報告書やゆらの里通信の内容から伝わってきます。
 ・オンライン面会やリモートでの結婚式の参加等、利用者さんや家族さんの思いに寄り添い支援をなさっていると思います
 ・手書きのゆらの里通信をいつも「良いなあ」と思っで見せてもらってます。ぜひ続けて下さい

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

・人手不足の解消。市でも介護の人材不足は把握している
 ・運営推進会議をオンラインでの開催を検討してみてください
 ・災害時、自治会でも出来る事があると思うので、訓練などに参加してみたいと思います

参加者サイン欄

小林 修 石角 恵子 岡田 留美 石角 燈恵子
 大槻 邦子 大槻 龍一 四方 誠 井田 理代子